

1. 取締役・監査役の選任に関する考え方

三菱商事では、取締役・監査役の選任方針を次の通り定めております。

また、個別の人事案については、独立役員を中心とするガバナンス・指名・報酬委員会で審議の上、取締役会で決定することとしています。

(1) 取締役の選任方針

三菱商事の取締役は、広範な分野で多角的な事業を行う総合商社の適切な意思決定・経営監督の実現を図るため、社内及び社外それぞれから、豊富な経験、高い見識、高度な専門性を有する者を複数選任することとしています。

具体的には、取締役（社内）は、取締役会議長を務める取締役会長、業務執行の最高責任者である社長のほか、全社経営を担う役付執行役員の中から選任し、また、社外取締役は、企業経営者としての豊富な経験に基づく、実践的な視点を持つ者、及び世界情勢、社会・経済動向等に関する高い見識に基づく、客観的かつ専門的な視点を持つ者から複数選任することとしています。

(2) 監査役の選任方針

三菱商事の監査役は、監査を通じて会社の健全な経営発展と社会的信頼の向上を実現するため、社内及び社外から、監査に必要となる豊富な経験と高度な専門性を有する者を複数選任することとしています。

具体的には、監査役（社内）は、全社経営や財務・会計・リスク管理その他の知識・経験を持つ者から選任し、また、社外監査役は、様々な分野に関する豊富な知識、経験を有する者から選任することとしています。

2. 取締役・監査役候補者の個別の選任理由

(1) 取締役候補者

	氏名	選任理由
社内	垣内 威彦 (再任)	農水産事業等の生活産業関連事業に従事し、生活産業グループ CEO 等の要職を経て、2016年4月から約6年間、社長として、事業経営モデルによる「経済価値」「社会価値」「環境価値」の三価値同時実現を前提とした成長を通じ、当社の企業価値向上に貢献してきました。2022年4月から取締役会長として、非業務執行の立場から経営の監督機能を担っており、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般、グローバルな事業経営及び管理・運營業務に関する知見を有していることから、引き続き取締役候補者となりました。

	氏名	選任理由
社内	中西 勝也 (新任)	新エネルギー・電力関連事業に従事し、中東・中央アジア統括等の要職を経て、2019年4月から電力ソリューショングループ CEO を務め、再生エネルギーとデジタルを基軸とした電力システム変革への挑戦を通じ、当社のエネルギー・トランスフォーメーション (EX) 及びデジタル・トランスフォーメーション (DX) を推進し、当社の企業価値向上に貢献してきました。2022年4月から業務執行の最高責任者である社長を務めており、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般、グローバルな事業経営及び管理・運営業務に関する知見を有していることから、取締役候補者となりました。
	田中 格知 (新任)	鉄鋼原料等の金属資源関連事業に従事し、金属資源本部長等の要職を経て、2018年4月から金属資源グループ CEO として、高品位の原料炭や鉄鉱石の安定供給責任を果たしつつ、脱炭素・電化・循環型社会の3つの社会課題を軸とする新たなポートフォリオへの組み換えを通じ、当社の企業価値向上に貢献してきました。2022年4月から EX タスクフォースリーダーも兼任し、当社の EX を推進しており、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般、グローバルな事業経営及び管理・運営業務に関する知見を有していることから、取締役候補者となりました。
	平井 康光 (再任)	地域戦略業務に従事し、三菱商事(上海)有限公司社長、三菱商事(中国)有限公司社長等の要職に就き、中国における市場開発等を通じ、当社の企業価値向上に貢献してきました。2021年4月からコーポレート担当役員(地域戦略)として、グローバルな事業展開の取組を推進するほか、チーフ・コンプライアンス・オフィサーとして三菱商事グループにおけるコンプライアンス体制の強化・自立化を推進しています。また、緊急危機対策本部長として、重大な有事発生時の対応責任者を務めると共に、連結ベースでの事業継続マネジメントを推進しており、三菱商事における豊富な業務経験と、当社の経営全般及び管理・運営業務に関する知見を有していることから、引き続き取締役候補者となりました。
	柏木 豊 (再任)	電力・エネルギー関連事業に従事し、電力ソリューショングループ CEO オフィス室長等の要職を経て、2021年4月からコーポレート担当役員(国内開発)を務め、再生エネルギーとデジタルを基軸とした電力システム変革への挑戦や、国内市場開発を通じ、当社の企業価値向上に貢献してきました。2022年4月からコーポレート担当役員(CDO、CAO、広報、サステナビリティ・CSR)として、デジタル戦略、経営力の高い人材の継続的輩出、ガバナンスの実効性向上、法務機能の強化、広報戦略、及びサステナビリティ関連の取組を推進しており、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般及び管理・運営業務に関する知見を有していることから、引き続き取締役候補者となりました。

	氏名	選任理由
社内	野内 雄三 (新任)	財務・会計関連業務に従事し、営業グループ管理部長、主計部長等の要職に就き、主に財務・会計の側面から、当社の企業価値向上に貢献してきました。2022年4月から最高財務責任者であるコーポレート担当役員(CFO)として、成長投資の足場となる盤石な財務体質の構築、投融資案件の審査・事業投資全体状況のモニタリング、市場リスク・信用リスク等の財務関連リスクマネジメント、より安定した株価形成と中長期的な株価上昇を促すIR活動等を推進しており、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般及び管理・運營業務に関する知見を有していることから、取締役候補者となりました。
社外	齋木 昭隆 (再任)	外務省において要職を歴任し、外交活動を通じて培われた地政学に関する深い造詣、及び諸外国のカントリーリスクに関する高い見識とこれらに対処するための広範なネットワークを有しており、客観的・専門的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督を行っていただけるものと判断し、引き続き社外取締役候補者となりました。
	立岡 恒良 (再任)	経済産業省において要職を歴任し、経済・産業政策に長年携わることで培われた産業界全体への深い造詣、及び環境・エネルギー政策を含むサステナビリティに関する高い見識を有しており、客観的・専門的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督を行っていただけるものと判断し、引き続き社外取締役候補者となりました。
	宮永 俊一 (再任)	世界各地で事業を展開するコングロマリッド型製造会社(上場)の取締役社長を長年務め、グローバルな事業経営の経験、及び脱炭素関連技術を含むテクノロジーに関する高い見識を有しており、実践的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督を行っていただけるものと判断し、引き続き社外取締役候補者となりました。
	秋山 咲恵 (再任)	国際的な経営コンサルタントを経て、産業用検査ロボット企業を創業し、グローバル企業に成長させた経験を通じて培われた、デジタル・IT分野への深い造詣、及びイノベーションに関する高い見識を有しており、実践的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督を行っていただけるものと判断し、引き続き社外取締役候補者となりました。
	鷺谷 万里 (新任)	グローバルに事業展開する複数のIT関連企業で経営幹部を歴任し、企業の変革を導いた豊富な経営経験と、デジタル・トランスフォーメーション(DX)に関する高い見識を有しており、実践的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督を行っていただけるものと判断し、社外取締役候補者となりました。

(2) 監査役候補者

	氏名	選任理由
常勤	鴨脚 光眞 (新任)	財務・会計関連業務に従事し、事業投資総括部長、コーポレート担当役員（国内）等の要職を経て、 2019年4月 から複合都市開発グループ CEO として、当社の企業価値向上に貢献してきました。当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般、グローバルな事業経営及び財務・会計等に関する知見を有していることから、監査役候補者となりました。
社外	小木曾 麻里 (新任)	国際機関を含む長年の金融業界における実務経験、グローバル企業や公益財団法人におけるダイバーシティ推進等のサステナビリティに関する取組、及び ESG インパクトファンドの設立・運営経験を通じて培われた、 ESG 、ファイナンスへの深い造詣を有しており、中立的・客観的な視点から監査を行っていただけるものと判断し、社外監査役候補者となりました。

以 上